

月	単元・題材名	時数	学習内容	評価規準	評価方法	道徳
	教科目標		○自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。 ○様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。			
4	・明日 ・アイスプラネット ・枕草子 ・行書の特徴	2 5 2 2	・学習の仕方をつかむ。 ・内容や特徴がよくわかるように朗読する。 ・登場人物の言動や心情を表す言葉に注目して、気持ちの変化を読み取る。 ・古文のリズムをとらえながら音読する。 ・硬筆～姿勢・執筆法や行書の特徴について学ぶ。	・学習のきまりや授業の受け方について理解している。 ・声の大きさや速さなど、音読を工夫している。 ・登場人物の言動や心情を表す言葉を見つけ、理解できている。 ・リズムよくスムーズに暗唱している。 ・姿勢や執筆法について理解し、行書の特徴を確認している。 ・集めた情報を取捨選択し、表現や構成などを工夫している。 ・対義語・類義語・多義語・同訓異義語について理解している。 ・話の要点や順序を整理しながら聞き取れている。	ノート ワーク プリント 発言・発表 を観察や提出物によって単元で評価 +	4(9) 日本人としての自覚  4(9) 伝統の継承 2(1) 礼儀・適切な言動  4(6) 家族愛 4(10) 国際理解と平和・人権 2(1) 礼儀・適切な言動  4(9) 愛国心 4(9) 伝統の継承  3(2) 自然愛護・畏敬の念 4(2) 公德心・社会連帯感 2(3) 友情・信頼  4(8) 郷土愛  3(3) 生きる喜び
5	・説明の仕方を工夫しよう ・言葉1 類義語・対義語・多義語 ・要点を整理して聞き取る ・やさしい日本語 ・発表資料を工夫しよう ・印象に残る説明しよう ・行書を書こう	4 2 1 5 1 5 2	・目的や相手に応じて情報を選択し、効果的に説明できるよう工夫する。 ・対義語・類義語・多義語、同訓異義語について理解する。 ・話の要点や順序を整理しながら聞き取る。 ・文章の全体と部分の関係や具体的事例の役割などに注意して読む。 ・図表やグラフなどを活用して効果的な資料を作成する。 ・資料や機器を活用し、分かりやすい構成を考えて説明する。 ・毛筆・硬筆～行書の特徴に気をつけて、字形を整えて書く。	・文章の全体と部分の関係や具体的事例の役割などに注意して読んでいる。 ・発表資料に図表やグラフを入れるなどの工夫をしている。 ・資料や機器を活用して説明している。 ・行書の特徴に気をつけ、字形を整えて書いている。 ・熟語の構成について理解する。	言語活動表現作品 書写作品 漢字テスト 小テスト 音読・朗読	
6	・漢字1 熟語の構成 ・新しい短歌のために短歌十二首 ・行書と仮名を書こう ・言葉を選ぼう	2 4 2 2	・短歌の表現の工夫や効果を理解し、短歌を作る。 ・毛筆～行書と仮名の調和に気をつけて書く。 ・似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉の微妙な違いについて考える。	・短歌の表現の工夫や効果を活用して、短歌を作っている。 ・行書と共に書く平仮名の特徴を理解している。 ・似た気持ちを表す言葉を比べて、違いを考えることができている。	暗唱 定期テスト	
7	・文法への扉1 単語をどう分ける？ ・行書に調和する仮名 ・行書の配列 ・メディアと上手に付き合うために	2 2 1 5	・活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する。 ・毛筆・硬筆～行書と仮名の調和や配列・配置に気をつけて書く。 ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。	・活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解している。 ・毛筆・硬筆～行書と仮名の調和や配列・配置に気をつけて書いている。 ・様々な方法で集めた情報を厳選して、考えをまとめている。	聞き取りテスト	
9	・盆土産 ・字のない葉書 ・敬語 ・気持ちを込めて書こう ・楷書と行書の使い分け	5 3 2 4 2	・人間や家族の持つ優しさや暖かさの表現に即して、人物描写の優れた小説を読み味わう。 ・父親への「私」の思いを読み取り感想文にまとめる。 ・敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身につける。 ・手紙の書き方を理解し、伝えたい気持ちや用件が伝わるように表現や構成を工夫して書く。	・場面描写や表現に沿って登場人物の人物や心情をとらえることができた。 ・父親への「私」の思いを表現に着目して読み、感想文に書けた。 ・敬語表現の特徴について理解を深め、敬語を正しく使うことができる。 ・手紙の書き方に沿って、表現や構成を工夫して書く。	4(6) 家族愛 4(10) 国際理解と平和・人権 2(1) 礼儀・適切な言動	
10	・相手の立場を尊重しよう ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・平家物語 一扇の的一 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景	1 4 5 2 3	・相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら話し合う。 ・言葉の使い方や論理展開のしかたに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・情景を想像し、心情を味わう。 ・昔の人のものの見方に考え方に触れる。 ・漢文独特のリズムをとらえながら音読する。	・自分の意見と比較しながら話し合うことができている。 ・言葉の使い方や論理展開の仕方に注意しながら、筆者のものの見方や考え方を捉えている。 ・登場人物の思いを読み取っている。 ・作者のものの見方や考え方を理解できている。 ・リズムよくスムーズに音読している。 ・漢詩の知識を理解している。 ・楷書と仮名の調和や配列に気をつけて書いている。	4(9) 愛国心 4(9) 伝統の継承	
11	・楷書と仮名の調和 ・人物の特徴をとらえて論じよう ・話し合ってみよう ・文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 ・モアイは語る	2 2 6 2 6	・毛筆・硬筆～楷書に調和する仮名の書き方や配列に気をつけて書く。 ・古典作品に登場する人物の特徴を捉え、伝えたいことを明確にして文章に書き表す。 ・異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。 ・用言の活用について理解する。 ・各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。	・選んだ人物の特徴を捉え、伝えたい内容を明確にして文章に書き表せている。 ・反論を予想して自分の考えをまとめ、説得力のある意見を述べている。 ・用言の活用について理解する。 ・文章の構成を理解している。	3(2) 自然愛護・畏敬の念 4(2) 公德心・社会連帯感 2(3) 友情・信頼	
12	・書き初めをしよう ・立場と根拠を明確にして書こう ・漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 ・走れメロス ・配列・配置 ・文法への扉3 一字違いで大違い ・表現の仕方を工夫して書こう 好きな言葉を書こう ・方言と共通語 ・送り仮名 ・身近な人の「物語」を探る ・マラソン大会を運営しよう	1 4 2 7 3 3 4 1 3 2 6 4	・毛筆～学習の成果を生かし、書き初めを書く。 ・関心のある社会問題について、根拠を示しながら意見を述べる。 ・同音異義語など、読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解する。 ・場面ごとの情景や心情の描写をとらえ、優れた表現を味わう。 ・硬筆～行を整え、配列に気をつけて書く。 ・付属語について理解する。 ・気持ちや気持ちの変化が効果的に伝わるように、表現を工夫して書く。 ・毛筆～全体の調和を考え、好きな言葉を書く。 ・方言の果たす役割について理解する。 ・送り仮名の付け方の原則を理解する。 ・題材を決め、話の構成や展開などに注意して、インタビューして情報を集める。 ・これまでの学習を生活に広げる力をつける。	・学習の成果を生かし、書き初めを書いている。 ・自分でテーマを決め、根拠を示しながら意見を述べることができている。 ・同音異義語など、読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解している。 ・場面ごとの主人公の心情の変化を読み取ると同時に、物語の主題に迫っている。 ・行を整え、配列に気をつけて書いている。 ・付属語について理解している。 ・気持ちや気持ちの変化が伝わるように、表現を工夫して書いている。 ・全体の調和を考え、配列よく書いている。 ・方言の果たす役割について理解している。 ・送り仮名の付け方の原則を理解している。 ・相手の立場に立ってインタビューし、工夫した文章を作った。 ・これまでの学習を生活に広げる力が付いている。	4(8) 郷土愛  3(3) 生きる喜び	

合計授業時数 140時間

学習のアドバイス

○国語は日常生活で最も重要な役割を果たしている「ことば」そのものを、あるいは「ことば」を用いた学習をする教科です。したがって日頃から「ことば」を大切に、授業では先生の話や友達の意見をきちんと「聞く」という態度が大事です。「聞く」という行為は、その他の言語活動（話す「書く」読む）のもとになるので、あらゆる場面で意識しましょう。

○提出物はきちんとやって出しましょう。（ノート、ワーク、漢字帳など）

○週1回漢字テストを実施し、基礎・基本の学力となる漢字の読み書きの力がどのくらい身についているかチェックします。漢字二百字帳に、新出漢字を中心に繰り返し練習していきましょう。

○文章を「読む」力を身につけるには読書に親しんでおくことが最も有効なので、読書の習慣を身につけるようにしましょう。多くの文章に接することにより、人物の気持ちを考える習慣をつけるようにしましょう。